

相撲専攻設置、創部も

サッカーと合わせ注力

五戸でひばり野西高説明会

旧青森県立五戸高跡地に野辺地西高が移転する形で2027年4月に開校する八戸学院ひばり野西高について、学校法人光星学院（八戸市）は18日、五戸町立公民館で学校説明会を開いた。普通科のスポーツ探究コースにサッカーと相撲の2専攻を設けて、授業と部活動を連動させた教育を展開していく考えを明らかにした。相撲専攻の設置に伴い、相撲部を創部し、校内に道場を整備する方針だ。

（田村純也）



ひばり野西高の概要を説明する山口吉彦氏18日、五戸町

授業と部活動の連動展開

ひばり野西高は募集定員80人で、普通科に「スポーツ探究」と「グローバル探究」の2コースを設置。スポーツ探究コースでは授業と部活動を連動させ、体育の授業でサッカーや相撲の理論、武道などを学び、放課後の部活動へ移行する。

部活動はサッカーと相撲、ダンスなどを予定。サッカー部のスタッフは現在の野辺地西高サッカー部から全員起用する意向だ。

グローバル探究コースは、地域を深く知り、国際的な視野で物事を考える力を身に付ける人材育成を目指す。八戸学院大や同短期大学部、町内の企業や農家などと連携した授業を展開する。

説明会で法官新一理事長は「希望を持って入学して

くる子どもたちを、しっかりと準備して受け入れたい」とあいさつ。校長予定者で元十和田西高校長の山口吉彦氏が概要を説明した。入試は推薦が来年1月15日、一般は同2月4日の実施を予定。入試の詳細や校歌、校章などは今秋に発表する。

【訂正】19日付18ページ、ひばり野西高の学校説明会の記事で、普通科に設置するのは「スポーツ探究」と「グローバル探究」の2コースでした。おわびして訂正します。